



第40回製剤と粒子設計シンポジウム

参加募集・プログラム

開催日時	令和5年11月20・21日(月・火) 12:00~開場 12:30~開会 ※11月20日12:00~1F展示場でプレパネル討論開催 アクリエひめじ
会場	〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2 https://www.himeji-ccc.jp/ 講演会場 4F 会議室 パネル展示会場 1F 展示場 C 交流会(立食形式) 1F 展示場 B
主催	(一社)粉体工学会・製剤と粒子設計部会
共催	(一社)日本粉体工業技術協会・粒子加工技術分科会
企画	(一社)粉体工学会・製剤と粒子設計部会 (一社)日本粉体工業技術協会・粒子加工技術分科会
テーマ	① 新製剤技術 ② 粒子設計のための素材、製剤プロセス ③ 粒子物性の計測と評価 【主催・共催学協会員(協賛学協会員は非会員扱いとなります。) 会社関係 30,000円 大学・公立研究機関関係 15,000円 学生 8,000円 【非会員】 52,000円 (全て非課税) ※会費には、1日目交流会費、2日目昼食(弁当)代を含みますが、1日目の昼食は含まれません。また、宿泊費も含まれません。各自でご用意下さい。
参加費	
振込口座	十六銀行黒野支店 普通 1557499 製剤と粒子設計シンポジウム 代表 竹内洋文 (セイザイトリュウシセッケイシンポジウムダイヒョウタケウチヒロフミ) ※恐れ入りますが、振込手数料はご負担下さい
定員	220名
申込方法	ホームページ(http://ppd-gifu.com)の参加受付よりお申し込みください
申込締切	令和5年10月20日 ※定員に達し次第申し込みを締め切らせていただきます。なお、締め切りを延長する場合がありますが、その場合は要旨類は現地お渡しになります
問合せ先	〒502-8585 岐阜市三田洞東5-6-1 TEL:(058)237-8572/080-9490-0689 岐阜薬科大学 先進製薬プロセス工学寄附講座内 製剤と粒子設計部会事務局 E-Mail: ppd.gifu@gmail.com または matsui-to@gifu-pu.ac.jp

-講演プログラム-

第1日目 11月20日(月)

12:00-12:30 プレパネル討論

12:30-12:35 開会の辞

12:35-13:45 パネルディスカッション <展示及びパネル口演>

【粒子設計のための素材製剤プロセス】

座長

1. 高精度な混合均一性を実現した連続直打システム
(パウレック) 立山和憲
2. 日曹商事が提案する医薬品添加剤
(日曹商事) 桐生 賢
3. 結合剤としての PVA のご紹介
(日本酢ビ・ポバール) 井上奈々
4. 製剤用新規核粒子ノンパレル-MM(80)の粉末レイヤリングへの応用
(フロイント産業) 佐藤綾香
5. 結晶セルロース「セオラス™」の湿打後未添加での錠剤物性への影響
(旭化成) 奥田達大
6. 新規直打用賦形剤のご紹介
(富士化学工業) 鈴木 透
7. JRS Pharma の高機能性添加剤 PROSOLV SMCC
(レッテンマイヤー・ジャパン) 高橋 真
8. POVACOAT 粉砕グレードにおける結合剤への応用
(大同化成工業) 池永達哉
9. ダイセルの OD 錠用コプロセス添加剤のご紹介
(ダイセル) 熊本いづみ
10. ロケット社 D-マンニトール製品のご紹介
(ロケットジャパン) 朝田 久仁子
11. 連続生産における添加剤のバラツキを理解する (理解を支える科学)
(DFE ファーマ) 李 鑫鵬
12. 連続生産に有用な MEGGLE のコ・プロセス添加剤 CombiLac
(メグレ・ジャパン) 大島寛之
13. Shin-Etsu AQOAT® を用いたユニークな製剤技術
(信越化学工業) 星野貴史
14. 機能性添加剤によるバイオアベイラビリティの向上
(メルク) 好池崇征
15. BASF の可溶化プラットフォームのご紹介
(BASF ジャパン) 佐野 翼
16. 医薬品原薬のマイクロカプセル化技術
(理研ビタミン) 庄司哲朗
17. EIRICH CleanLine の固形製剤におけるプロセス活用事例
(日本アイリッヒ) 伊藤永莉
18. 回転盤交換式高速打錠機 CYGNUS-K について
(菊水製作所) 芹澤高志

19. 新型噴霧乾燥機の開発
(大川原化工機) 根本源太郎
20. 製剤開発および生産現場で役立つ気流制御によるセーフティブースの紹介
(ホソカワミクロン) 手崎 稜
21. NARA グローブボックスによる各種製剤装置の封じ込め事例紹介
(奈良機械製作所) 新藤正人
22. 経肺・経鼻製剤開発におけるデバイス開発期間短縮のための支援例
(トキコシステムソリューションズ) 堀越清良

【粒子物性の計測と評価】

13:45-14:15

座長

23. 粉体・流体シミュレーションソフトウェア「iGRAF (アイグラフ)」を活用した混合プロセス評価
(構造計画研究所) 加藤翔真
24. MSPC を用いた連続造粒システムの工程管理
(ダルトン) 杉本繁之
25. プロセス測定用 FT-NIR 新製品 MATRIX-F II のご紹介
(ブルカー・ジャパン) 垂水利泰
26. 水蒸気吸着測定装置 E シリーズとフリーズドライ顕微鏡システムによる製剤研究の基礎
(イーストコア) 東城守夫
27. 新型微量粉体特性化装置「MPC-200」
(岡田精工) 湯川十三
28. 28. 錠剤含有成分の分布や結晶多形分析を簡単に高速に高感度で測定できる赤外イメージングシステム
(アジレントテクノロジー) 西村 新
29. OSDrC®技術を用いた光安定性向上への取り組みのご紹介
(三和化学研究所) 福島 徹
30. スペラファーマが提供する注射剤開発サービス
(スペラファーマ) 近藤真弘
31. シオノギファーマの受託サービスのご紹介
(シオノギファーマ) 松村 昌美
32. 一患者を保護しブランドの完全性を維持するためのデジタルセキュリティー
(日本カラコン) 石川 宏

パネルディスカッション〈展示のみ〉

33. フマル酸ステアリルナトリウムの粒子径及び混合粉末の流動性が錠剤物性に及ぼす影響
(日本曹達) 大芦 竜也
34. 小型打錠機 HT-DIO のご紹介
(畑鐵工所) 田尻隆志
35. イメージングや分析に関する受託サービスの紹介
(東芝ナノアナリシス) 堤 雅義
36. 新規のインラインの粒度分布計について
(アイビック・リサーチ) 河村範夫

14:15-14:25

休憩 (10分)

14:25-15:45

奨励賞対象講演

座長

- 異なる薬物の共存が ritonavir の液-液相分離及び非晶質溶解度に与える影響の評価
(千葉大院) 金子 舜
- ATR-FTIR イメージングを活用した画像解析と数値モデルによる共結晶の溶解挙動の解明
(東京工業大) 巽 由奈
- 分子動力学法を用いたオイルアウト下における核化解析
(同志社大) 津川侑平
- 液体窒素連続供給装置を用いた大規模噴霧急速凍結乾燥法の開発
(名城大) 山田泉
- MALCORE®～溶融造粒法を用いた新規製造技術～
(沢井製薬) 木全峻太
- 混練物の圧縮試験による混練・造粒操作の最適化と顆粒物性の予測
(大阪公立大) 杉本萌々子

15:45-16:15

休憩およびパネル討論 (30分)

16:15-18:10

- 攪拌容器回転型ミキサーを用いた医薬品粉体混合特性
(日本アイリッヒ) 加藤 花
- 崩壊性と溶解性に優れたとろみ調整用錠剤の検討
(パウレック) 梶谷絵梨
- 薬物含有核粒子製造技術 QALCORE®を採用した新規開発製剤における製造条件の最適化
(沢井製薬) 深谷莉紗子
- 乾式コーティング法によるマスキング微粒子設計の最適化と味評価
(大阪医科薬科大) 畑中友太
- Shin-Etsu AQOAT® (HPMCAS) を用いた完全乾式コーティング手法の確立
(信越化学工業) 堺 英俊
- 噴霧急速凍結乾燥法を用いた、吸入粉末剤化を目指した mRNA 封入脂質ナノ粒子の開発
(名古屋市立大) 佐藤一輝
- 計算科学を用いたイオン性脂質ナノ粒子に関する研究の処方設計への応用
(星薬科大) 小倉由未佳
- 経鼻投与リポソームの脳内移行性に関する研究：粒子表面特性の影響と視神経への薬物送達の可能性
(岐阜薬科大) 羽田野陸

18:30-20:30

交流会 (1F 展示場 B 立食形式)

第2日目 11月21日 (火)

9:00-9:25

パネル口演【新製剤・新技術】

- ポリビニルアルコールを用いた徐放性錠剤向け親水性マトリクスポリマーの開発
(三菱ケミカル) 森岡俊文
- 密閉型スプレー式連続凍結乾燥装置の開発
(モリモト医薬) 盛本 修司
- Rheavita 社連続凍結乾燥システムの紹介
(ライフィクスアナリティカル) 西村 隆
- OPC 通信規格を用いたベンダーフリーなデータ統合システム構築例
(クオリティデザイン) 住友 薫

9:25-10:35

一般講演

1. 消化管粘膜滞留性と透過性の向上を目的としたリポソーム含有ナノファイバー製剤の設計
(岐阜薬科大) 山添絵理子
2. がん中性子捕捉療法用 Gd 含有キトサンナノ粒子の表面修飾が腫瘍内滞留性と抗腫瘍効果に与える影響
(神戸学院大) 安藤 徹
3. シクロデキストリンをベースとした金属有機錯体の複数薬物キャリアとしての応用
(大阪公立大) 大崎修司
4. ユーザビリティを追求した後発品開発- エスタロプラムシウ酸塩 OD 錠の開発-
(第一三共エスファ) 鈴木 聡
5. ラッピング製剤の技術開発
(第一三共) 長池 剛
6. 消化管上部をターゲットとした HPMCAS 固体分散体の溶出改善技術
(信越化学工業) 石丸光男

10:35-10:50

休憩 (15 分)

10:50-11:05

学術賞・技術賞 授賞式、受賞経緯発表

11:05-11:50

学術賞受賞講演

座長 市川秀喜 (神戸学院大)

製剤設計のための物性評価技術の体系化と計算化学の適用

(星薬科大) 米持悦生

技術賞受賞講演

座長 中上博秋 (日本ジェネリック)

11:50-12:05

OD 錠用プロセス添加剤「GRANFILLER D®」の開発

(ダイセル) 橋川尚弘

12:05-13:40

休憩及びパネル討論 (95 分)

13:40-15:30

一般講演

座長

7. 高機能滑沢剤 NISSO SSF の過混合による錠剤物性への影響評価

(日本曹達) 渋谷勇一

8. 直打連続生産システムにおける滑沢化

(マキノ製剤技術研究所) 榎野 正

9. 打錠プロセスのデジタルツインによる Quality by Design

(畑鐵工所) 橋爪隆秀

10. 連続生産システム「LaVortex®」を用いた新規連続造粒乾燥方式の評価

(アーステクニカ) 小柳敬太

11. 連続生産における乾式造粒工程の操作因子が顆粒物性へ与える影響の評価

(パウレック) 牛島悠太

12. 漢方エキス粉末の顆粒設計を指向した攪拌造粒と造粒指数

(大阪ライフサイエンスラボ) 寺下敬次郎

13. 溶液 NMR による薬物過飽和溶解領域の定量的解析

(千葉大院) 植田圭祐

14. 時間領域 NMR 法を用いた加湿時に引き起こされる非晶質固体分散体の相分離評価

(富山大) 岡田康太郎

15. 農薬粒状製剤における湿潤粉体の状態と押出し造粒性との関係

(住友化学) 留守 愛

16. 製造法の異なる噴霧凍結造粒体の結晶性と安定性に関する検討

(スペクトリス) 笹倉大督

15:30-15:45 **奨励賞 受賞者発表および表彰式**

15:45-15:50 **閉会の辞**

※ タイムスケジュールは当日変更されることがあります